

科目 科学英語Ⅲ (Scientific English Ⅲ)

担当教員 杉本 雅純、上野 太郎

【1】 授業の目的と学習成果〔教育目標・具体的な項目〕

最先端の研究内容を知り理解するためには、英語で書かれた科学論文を読む能力も必要となる。この授業では、英語の教材を読んで適正な日本語に訳す経験を積むことで、やがては英語の科学論文を読めるようになる技術を身につけることを目的とする。

＜教育目標＞

- (1) 十分な知識・技能と、科学的な探究心・思考力・批判力をもつ
- (2) 自ら主体的に学ぶ力をもつ

＜具体的な項目＞

- 専門分野における十分な基礎知識・基本技能 (1)
 関連する分野における概括的な基礎知識・基本技能 (1)
 問題を多角的に把握し、問題解決に必要な知識・技能を同定し、不足する知識・技能を自覚し、自ら獲得できる力 (2)

【2】 授業計画

2グループに分かれ、前後半7回ずつ各1名、計2名の教員の授業を受ける。授業は、各教員が配布したプリントを教材として音読や日本語訳を中心に進めていく。15回目に講義内容のまとめを行う。

【3】 到達目標

英語で書かれた生命科学に関する平易な文章を、英和辞典を用いて読めるようになる。
 生命科学に関する基本的な専門用語の英単語が書けるようになる。

【4】 授業概要

各担当者が配布した生物科学に関する基礎的な内容のプリントを教材とし、一人一人が自ら読み、日本語訳を発表し、適正な英文の訳し方を学ぶ。

【5】 準備学習（予習・復習）および必要時間

授業前には各担当者からの課題を十分な時間をかけて終わらせておくこと。毎授業後には学んだ内容をノートにまとめておくこと。
 授業ごとに少なくとも180分の予習・復習が必要。

【6】 教科書・参考書・参考資料

教科書は使用せず、各担当者が配布するプリントを教材とする。英和辞典を用意すること。
 [参考書] 英和辞典に載っていない学術的な専門用語は、「ステッドマン医学大辞典」メジカルビュー社、「生化学辞典」東京化学同人、「分子細胞生物学辞典」東京化学同人、「生物学辞典」岩波書店、「化学辞典」東京化学同人などで調べられる。手間を惜しまずに調べる。さらに、同じ内容を扱った日本語の参考書を読むのも良い。

【7】 評価方法およびフィードバック

授業内の英文和訳 50% + 学期末試験 50%
 学期末試験実施1週間後には希望者に対して採点した答案を示して説明する。

【8】 オフィスアワー

杉本：月曜日・4時限、木曜日・4時限 上野：月曜4限、火曜4限 （ただし担当者の実習期間を除く）

【9】 関連科目

[予め学んでおくとよい科目]

科学英語Ⅰ 科学英語Ⅱ

[この科目に続く内容の科目]

外国語文献講読（2016年度以降入学生用） 外国語文献講読Ⅰ（2012～2015年度入学生） 科学英語Ⅳ

【10】 その他

なし